

2014 年 9 月 25 日

お客様各位

株式会社ベッコアメ・インターネット

GNU bash の脆弱性について

平素より弊社サービスをご利用頂き誠にありがとうございます。

この度、GNU bash の環境変数処理に脆弱性が発見され、外部からの入力、GNU bash の環境変数に設定される環境において、遠隔の第三者によって任意のコードが実行される可能性がございます。

JPCERT コーディネーションセンターより注意喚起が発表されています。
ご確認のほどお願いいたします。

なお、設定変更などにより生じた結果については、弊社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

記

■対象 : 以下のバージョンが脆弱性の影響を受けます。

- Bash 4.3 Patch 25 およびそれ以前
- Bash 4.2 Patch 48 およびそれ以前
- Bash 4.1 Patch 12 およびそれ以前
- Bash 4.0 Patch 39 およびそれ以前
- Bash 3.2 Patch 52 およびそれ以前
- Bash 3.1 Patch 18 およびそれ以前
- Bash 3.0 Patch 17 およびそれ以前

■対策方法 : 対策方法に関しましては、JPCERT コーディネーションセンターより
ご参照ください。

<https://www.jpCERT.or.jp/at/2014/at140037.html>

■本件に関するお問い合わせ

メールアドレス : tech@bekknet.ad.jp